

平成 30 年 7 月豪雨に係る災害復旧事業等の進捗状況について

技術企画課
道路整備課
河川課
砂防課
流域下水道課

1 要 旨

平成30年7月豪雨により甚大な被害が発生した公共土木施設の災害復旧事業について、進捗状況と見通し等について報告する。

2 災害復旧事業の進捗状況

災害復旧事業として採択された、県が管理する公共土木施設 2,550 箇所（査定決定箇所数）のうち、改良復旧事業等により実施する箇所を除いた 2,524 箇所の令和3年3月末時点での進捗状況は次のとおりである。

(単位：箇所)

建設事務所（支所）等	災害復旧事業被災箇所数（査定決定ベース）※1			
		発注済※2		完成
			契約済	
西部	462	447	442	225
呉	220	220	220	137
廿日市	11	11	11	11
安芸太田	29	29	29	29
東広島	515	502	502	260
東部	450	450	450	412
三原	457	457	456	324
北部	141	141	141	136
庄原	236	236	236	152
広島水道	3	3	3	3
全体	2,524	2,496 (99%)	2,490 (99%)	1,689 (67%)
(全体) (改良復旧事業等を含む)	(2,550)	(2,513)	(2,507)	(1,693)

(※1) 県が管理する公共土木施設で工事費 120 万円以上の災害復旧事業として採択されたもの。

(※2) 公告または指名通知済のもの。

《令和3年3月に完成した災害復旧事業の一例》



(一) 河津川（広島市安佐北区）



(一) 大崎下島循環線（呉市豊浜町）



大芝南地区（東広島市安芸津町）

3 事業進捗上の課題と取組

平成30年7月豪雨に係る災害復旧事業については、令和3年3月末時点で2,490箇所が契約済となっており、人家に近接した箇所など県民生活に影響の大きい箇所については、優先的に工事を進めており、令和3年出水期までの完成を見込んでいる。

一方で、西部建設事務所及び西部建設事務所東広島支所管内においては、依然として、不調・不落が発生しており、未契約箇所については、現場条件を適切に反映した見積り方式を活用して予定価格の算出を行うなど早期の工事着手を目指す。

また、地域内事業者の手持ち工事量が多く、下請業者の確保が困難な状況が続いていることから、関係団体を通じ可能な地域からの下請参加の要請の強化など、引き続き受注環境の整備を図り、令和3年度中の完成を目指す。

4 改良復旧事業の進捗状況

被災箇所が連続するなど再度災害防止の観点から、県が事業主体となり、一連で対策を講じる改良復旧事業については、令和5年度中の事業完了を目指しているところであり、進捗状況は次のとおりである。

区分	事業名	進捗状況（予定を含む）			完了目標
		用地	工事（工事数量に対する割合）		
			契約	完了	
道路	主要地方道 呉環状線【災害関連事業】	境界立会：100% 用地取得：0.4% (工事施工承諾含み100%)	護岸工：100% 法面工：100% 橋梁下部工：100% 橋梁上部工：0% 舗装工：0%	護岸工：74% 法面工：11% 橋梁下部工：0% 橋梁上部工：0% 舗装工：0%	令和4年度中
河川	沼田川及びその支川 【河川激甚災害対策 特別緊急事業】	境界立会：100% 用地取得：0% (令和2年9月着手)	護岸工：35% 掘削工：77% 築堤工：18% 堰改築工：100%	護岸工：31% 掘削工：75% 築堤工：0% 堰改築工：0%	令和4年度中
	三篠川 【災害復旧助成事業】	境界立会：98% 用地取得：61% (工事施工承諾含み64%)	護岸工：45%	護岸工：13%	令和5年度中
砂防	ひよき川 【災害関連事業】	境界立会：100% 用地取得：98%	渓流保全工：100% 橋梁工：50%	渓流保全工：7% 橋梁工：0%	令和3年度中

(主) 呉環状線道路災害関連事業状況写真

